

専攻科だより

— 中国四国地区専攻科生研究交流会参加 —

専攻科長 中 哲夫

生産システム工学専攻主任 葛目 幸一

海上輸送システム工学専攻主任 高岡 俊輔

平成18年4月24日・25日に平成18年度中国四国地区高等専門学校専攻科生研究交流会が徳島県阿南市文化会館（夢ホール）で開催されました。専攻科生研究交流会とは、「専攻科生同士の交流を深めましょう！」のスローガンの下に中国四国地区の高等専門学校専攻科生が年に一度集まり、日頃の研究成果の発表や意見交換を行う場です。今年度は第9回目にあたり、中国地区8高等専門学校専攻科と四国地区6高等専門学校専攻科が全て揃った記念すべき会となりました。本校の専攻科生も初めての参加となり、平成17年度入学生18名全員がエントリーしました。

この会の運営は専攻科生が主体となり全てを運営することとなっており、専攻科生研究交流会実行委員会（阿南高専専攻科生＋各高専専攻科生1名）が行いました。本校からの実行委員は生産システム工学専攻の横田耕一君が行いました。研究発表は専攻科生のみで一人一件、発表形態は昨年までは口頭発表のみでしたが、今年度から全校参加で発表件数が急増することが予想されたので、ポスターによる発表も新たに企画されました。発表部門は「機械部門」「電気・電子部門」「情報・制御部門」「土木・建築部門」「物質・化学部門」の5部門、予稿及び発表言語は日本語又は英語となっていました。今年度の発表件数は口頭発表177件、ポスター発表34件の合計211件で英語による口頭発表は2件の発表でした。なお、本校からは12件の口頭発表と6件のポスター発表が行われました。

実行委員長である、阿南工業高等専門学校、電気・制御システム工学専攻の原賢二君の挨拶は次の通りでした。

『平成18年度専攻科生研究交流会の実行委員長を務めさせていただき原です。この専攻科生研究交流会も第9回となり、参加希望者数も年々増加しています。研究発表を通じてお互いの専門知識を交換し合い、交流を深めたいと思います。研究交流会で得た様々な情報や知識を、今後の研究活動等に役立ててほしいと思います。今回の研究交流会は阿南高専が主催し、各高専の実行委員の方々とともに協力し合って運営していきます。有意義な交流会になるよう努力しますので、皆様のご協力をよろしくお願い致します。』

専攻科では、本科で培った学術の上に、さらに高い技術を修得することを目的としています。講義や研究内容も高度になりますが、チャレンジ精神を旺盛にし、特に、自ら考える力、調査・分析力、ディスカッションやプレゼンテーション能力、論文作成力、語学力を高めるには大変意義のある会だったと思いました。

☆本校専攻科生の発表

〔機械部門〕9件

- ・大塚哲弥「各種応力問題のFEM解析」
- ・峯松順子「近接するボイドを含む弾塑性体の2軸圧縮変形解析」
- ・後藤誠司「発泡スチロール切削用工具の開発」

- ・早柏正幹「マグネシウム合金板のFLDにおよぼす温度、速度及び粒径の影響」
- ・横田耕一「マグネシウム合金AZ31Mの疲労き裂発生挙動と切欠感度」
- ・清水陽介「弾性体の微小変位特性に関する研究」
- ・玉田大輔「水・エマルジョン燃料の蒸発、燃焼に関する研究」
- ・岡野 豊「水中音響の測定・解析に関する研究」
- ・福万祥教「銀とガラスの研摩特性について」

〔情報・制御部門〕4件

- ・中原光一「離散むだ時間補償器を有するI-PD制御系の設計」
- ・小林 聖「程度副詞を用いた指示による上肢の速度特性」
- ・石川祐二「シミュレータ訓練による操船技術の習熟特性」
- ・森本 猛「歯の接触音を用いた学習機能を有するハンズフリー型ユーザーインターフェイスの開発」

〔土木・建築部門〕3件

- ・竹林君孝「小型船のBRM訓練シナリオの作成」
- ・栗本裕和「低速航行時における1軸2枚舵船の操縦運動に関する研究」
- ・山下真史「魚型水平断面舵における最適舵型形状に関する研究」

〔物質・化学部門〕2件

- ・岩本祐輔「湿度調整用高分子ゲルシートの開発」
- ・吉田正人「ペロフスカイト型遷移金属酸化物を用いた光磁気機能材料の開発」



会場入り口にて



懇談会場